日ノ場合ニ處スル此ヲ措キテ豈復奇策妙計アランヤ

（御用印刷　府廳前　中西活版所）

學

乙第九十二號

郡區役所

本年當廳甲第九十八號小學校試驗規則第十四條第五號書式ニ準シ當度大試驗完了ノ日ヨリ三週間以内ニ各小學校成績比較表ヲ製シ開申スヘシ此旨相達候事

明治十八年六月十一日

京都府知事北垣國道

乙第九十三号

郡區役所
戸長役場

戸長以下ニシテ公務處弁之爲メ本府并ニ郡區役所其他等ヘ出行スルニ其行程三里以外ナルトキハ豫メ處轄郡區役所ヘ伺之上許可ヲ經ヘシ

此旨相達候事

但非常要急之事件アルカ又ハ召喚ニ應シ出行スルハ此限リニ非ス

明治十八年六月十一日

京都府知事北垣國道

乙第九十四號

郡區役所

郡區長委任條件第八十四條左ノ通改正シ第八十五條ヲ删除候條此旨相達候事

明治十八年六月十二日

京都府知事北垣國道

第八十四條　定額金拾圓未滿ヲ以テ郡區廳舍及揭示場ノ工事ヲ施行スルヿ但中科目流用ノ場合ハ此限ニアラス

正誤十四

本年乙第八十七號達郡區役所ノ次ニ戸長役場ノ四字ヲ脫レ第壹條第三條トアルハ第壹章第三條ノ誤

明治十八年六月十二日　調査掛

（御用印刷点林堂）

乙第九十五號

本年五月第十一號布告菓子稅則來ル七月一日ヨリ施行、相成候ニ付テハ右施行前ノ製造菓子ト雖モ製造人ニシテ施行期日之ヲ所持スルモノハ其現在高ヲ製造帳ニ記入セシムル筋ニ付其趣製造人へ相示スヘシ此旨相達候事

明治十八年六月十五日

郡區役所
戸長役場

京都府知事北垣國道

勸

乙第九十六號

郡區役所

今般示第百五十二號ヲ以專賣免許料上納方告示候ニ付テハ明治十七年當廳乙第百四十號達二十五
國稅收納順序ニ據リ收入シ其旨收稅長ヘ報道シ追テ特許証若クハ指令書到達ノ上更ニ成規ノ手續ヲ以納付スヘシ但シ免許料ヲ退付スヘキ場合ニ於テハ明治十七年當廳乙第百四十一號達ニ據ルヘシ此旨相達候事

明治十八年六月十五日

京都府知事北垣國道

乙第九十七號

別紙告諭ニ及候處尚郡區長戸長ニ於テ部内無洩觸示シ方可取計此旨相達候事

明治十八年六月十八日　京都府知事北垣國道

郡區役所
戸長役場

今般東京三田育種場内苗木樹ニ「フ井ロキセラ」虫發生候處元來該虫ハ非常ノ害虫ニテ其發生

以來歐州葡萄園ノ之カ害ヲ被ムルモノ不尠佛國ノ如キハ爲メニ大半ノ葡萄園ヲ失シ其防禦ノ術ニ至テモ未タ良法ヲ得サル次第ニ付万一府下ニ傳染候テハ不容易義ニ候條當分西洋葡萄苗ハ當管ニ移植セサル樣可致若從前ヨリ栽培セシモノ等有之候ハヽ虫害ノ有無精々注意シ果シテ虫害ノ兆候相顯レ候ハヽ直ケニ燒捨可致此旨告諭ス

明治十八年六月十八日　京都府

（御用印刷　府廳前　中西活版所）

兵

乙第九十八號

郡區役所
戸長役場

軍馬輸送ノ途中發病之節地方ニ於テ取扱方左ノ通陸軍省ヨリ被達候條此旨相達候事

明治十八年六月十八日　京都府知事北垣國道

第一項　軍馬輸送ノ途中ニ於テ馬匹疾病若クハ傷病ヲ生シ歩行ニ堪ヘ難クシテ其取締ヨリ治療日數ヲ豫定シ其旨戸長（戸長アラサル地ハ區長以下倣之ニ）預ケ方ヲ協議スルトキハ戸長ハ之ヲ確實ナル者ニ預ケ預定期日ニ至レハ（期日内ト雖モ全快スルトキハ直ニ出發セシム）馬夫ヲ雇ヒ直ニ鎭臺ニ送致セシムルコトヲ保シ取締ニ方式ノ受書ヲ出ス可シ

但馬匹預ケ中ハ飼料幷ニ手當トシテ一日金三拾五錢以内ヲ給シ其出發後ハ馬匹旅籠料金三拾錢雜費金九錢其他馬夫給料及ヒ旅費トシテ一日金七拾錢以内（里程六里乃至八里許トス）ヲ以テ鎭臺到着ノ日迄之ヲ給シ歸路ハ別ニ給スルコトナシ

受書式

軍馬預リ受書

一馬名
一寸尺
一毛色
一年齢

右何症ニ罹リ當町(村)ニ於テ何週間治療ヲ加ヘ全快ノ見込ニ依リ御預ケ相成候ニ付テハ快氣ノ上何鎭臺ニ差立方取計可申右相違無之候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長 戸長アラサル地ハ區長

年號月日　　姓名印

何鎭臺

官姓名殿

第二項　前條ノ馬匹豫定期日ニ至リ尚ホ歩行堪ヘ難キトキハ戸長ハ更ニ治療期日ヲ豫定シ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ其旨鎭臺ニ申出可シ又出發後途中ニ於テ再ヒ發病歩行シ難キトキハ馬夫ヨリ其地戸長ニ申出シメ其地戸長ハ速ニ獸醫ヲシテ治療ヲ加ヘシメ其旨電報ヲ以テ鎭臺ニ申出指揮ヲ受ク可シ

但其治療滯在中ハ馬匹旅籠料及ヒ雜費ノ外尚ホ馬夫給料手當トシテ一日金四拾錢ヲ給ス可シ

第三項　馬匹ノ病症到底癈疾ニ歸ス可キ者ト獸醫診斷シ確實ナルトキハ取締出發後ハ其

地戸長ヨリ電報ヲ以テ之ヲ鎭臺ニ具申シ賣却又ハ撲殺ノ處分ヲ請フ可シ若シ急症ニシテ斃死セシン：キハ獸醫ヲシテ其病因ヲ診斷セシメ賣却又ハ埋沒シ其事由ヲ鎭臺ニ具申スル可シ

但斃死セシ馬匹ハ成ル可ク之ヲ賣却シ其代價ニ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ上納ス可シ若シ傳染病ニテ賣却ス可カラサル者又ハ其他ノ事故ニテ買取者ナキトキハ一頭ニ付金三圓以內ヲ以テ埋沒又ハ斃棄ス可シ

第四項　病馬ノ診察料藥價幷ニ馬匹預ケ中及ヒ出發後ノ費用ハ其治療ノ日數ト旅行ノ里程ニ應シ取締ヨリ豫シメ之ヲ其地戸長ニ交付スルヲ以テ戸長ハ後日決算ヲ爲シ之ニ現證書ヲ添ヘ鎭臺ニ送呈シ其費用ニ關スル證書類ニハ總テ戸長之ニ檢印ス可シ又取締等途中ニ於テ已ムヲ得サル事故ヲ生シ軍馬宿泊指定表ノ通通行スル能ハス爲メニ戸長ノ證印ヲ請フトキハ戸長ハ事實取糺ノ上該表ノ裏面ニ其事由ヲ記シ之ニ檢印ス可シ

（御用印刷府廳前　中西活版所）

乙第九十九号

郡區役所

明治十七年六月本府乙第百四十號達國税金収納順序附錄第三項及右ニ屬スル報告書式左之通更正候條此旨相達候事

明治十八年六月十九日

京都府知事北垣國道

（別紙）

國稅金收納順序附錄第三項更正

一郡區長ハ租稅金官損又ハ未納ニ係ル分第三號ノ如ク大科目限リ調製シ該租稅納期限後三十五日以內ニ收稅長ニ報告スルモノトス但報告後ニ徵收スルコトアレハ其時々之ヲ追報スヘシ

第三號（用紙美濃柾罫紙）

明治何年度分

一金何程　何租稅（歲入小科目ノ）第何期

是ハ何々（事故詳細記載）ニ付成規ノ通リ處分候處代價不納金額ニ滿タス官損可相成分（或ハ買受望人ナク又ハ公賣代價不相當ニヨリ該財產ヲ官沒セシニ付官損可相成分）

一金何程　何租稅（前同）前（後）半期

是ハ何々（前同）ニ付成規ノ通處分候處賦課財產無之官損可相成分

一金何程　何租稅（前同）前（後）半期

是ハ何々（前同）ニ付當期徵收難相成分

一金何程　何租稅(前同)前(後)半期
是ハ何々(前同)ニ付當期延納ノ儀稟申中ノ
分
合金何程
右之通候也
年月日

府收稅長宛

郡區長姓名印

（御用印刷東林堂）

乙第百號

明治十六年十月本府乙第百九十一號達中公賣處分ヲ爲シ能ハサルモノハ下「右期限後三十五日以内」ノ十字ヲ(該稅決算期限七十日以前)ノ十一字ニ改ム此旨相達候事

明治十八年六月十九日

郡區役所

京都府知事北垣國道

乙第百一號

郡區役所

本年本府乙第六十二號達中左記ノ者誤記ノ旨ヲ以テ取消方岡山縣ヨリ照會越候ニ付取消候條此旨相達候事

明治十八年六月廿二日

京都府知事北垣國道

豐嶋保治郎
内田ナヱノ
磯嶋宗三郎

收

乙第百二號

豫備後備兵役点呼幷ニ現役輜重輸卒（入營セサルモノ）讀法式等之義來七月初旬ヨリ八月下旬迄之間ニ於テ施行之旨其筋ヨリ通報有之候條不都合無之樣可取計尤集合之場所及時日ハ追テ當府駐在官ヨリ通達可有之此旨相達候事

兵

明治十八年六月廿二日

京都府知事北垣國道

郡區役所

高戸保太郎
原田嘉八
（御用印刷商報會社）

収

乙第百三號

郡區役所

客年十一月乙第二百四十三號ヲ以テ歳入科目表更ニ相達候ニ付テハ該表中商標登錄手數料ハ別紙雛形之通調表七一月十日迄ニ收稅長ヘ差出スヘシ此旨相達候事

明治十八年六月廿二日

京都府知事北垣國道

明治何年自何月至何月商標登錄手數料表

何郡何區

郡區名	種目	個數	郡區稅金	、	、	、
商標轉用						
兼用						
改正讓與						
分與續用						
再渡						
稅金計						

明治何年自何月至何月　商標登錄手數料表　何郡區

郡區名	種目	商標轉用	兼用	改正讓與	分與	與續用	再渡	稅金計
何郡區	個數							
	稅金							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
合計	、							
	、							

右書明治何年自何月至何月商標登錄手數料表面之通相違無之候也

年　月　日

何郡區長名印

收稅長　殿

（印刷　村上活版所）

乙第百四號

區役所
戸長役場

常廳示號告示之義ハ總テ各町へ壹部ツヽ配布セシ處來ル七月一日ヨリ各府縣下戸長役場公証帳簿更正ニ係ル告示ニ限リ戸長役場備置ノ外別ニ壹部ヲ配布候條部内へ觸示シ方便宜可取計此旨相達候事

明治十八年六月十三日

京都府知事北垣國道

調

收

乙第百五號

郡區役所
戸長役場

本年當廳乙第三號達中土地臺帳整製方ニ付在來ノ帳簿圖面ニ對照シ一應實地取調ヲ爲シ事實相違ノモノハ内出サスヘキ旨番外第四十八號ヲ以テ及内達置候處該取調方區々ニ渉リ其要領ヲ得ヘカラサル樣ノ事ニ立至リ候テハ徒勞ノ手數ニ屬スル義ニ付右内達之趣旨各地主ニ懇諭シ現在徴租ノ基本ト爲ス帳簿及既製ノ繪

圖面ト實地ト對照シ別紙實地取調順序ニ依リ詳細取調テ爲サシメ以テ事實相違ノ有無ヲ開申セシムヘシ此旨相達候事

但實地取調上ニ不都合アリト視認ル場合ニ於テハ特ニ收稅官吏ヲ派遣シ地押檢查ヲ爲サシムルコトアルヘキニ付本文ノ趣旨各地主ニ於テ誤解セサル樣深ク注意スヘシ

明治十八年六月廿三日

京都府知事北垣國道

實地取調順序

第一條　今般ノ實地取調方ハ地租改正以後ニ係ル地目變換開墾地其他ノモノニシテ苟モ帳簿圖面ト實地ト齟齬スルモノハ各地主ニ於テ之ヲ調理シ次々ノ順序ヲ經由スヘキ筈ナレトモ然ルヤハ却テ事ノ煩雜ニ涉リ其要領ヲ得難キニ付此際特ニ每町村ニ於テ地主總代ヲ撰定シ實地取調ニ從事セシムヘシ

第二條　實地取調着手前ニ於テ地券面ト實地ト齟齬スルモノハ其地主ヨリ該地ノ字番號

及ヒ現在ノ地目ヲ記載シ之ヲ總代人ニ差出シ實地取調ノ參照ニ供セシムヘシ

第三條　實地取調書手前ニ於テ地租改正以後夫々正當ノ順序ヲ經既ニ處分濟ニ係ル土地ニシテ未タ帳簿ノ訂正ヲ爲サヽルモノアルヤハ其現地目反別地價地租及ヒ處分濟ノ年月日ヲ附箋ニ記載シ之ヲ該記簿面該當ノ所ニ貼シ置キ此除ノ取調上ニ參照セル相違ノモノト混淆セサル樣區別シ置クヘシ

第四條　戸長役場ニ於テハ用掛等ノ申ヲ以テ適宜擔當者ヲ定メ彼此異樣ノ調査ニ渉ラサル樣便宜實地ニ就キ其事業上ヲ注視スヘシ

第五條　實地調査ヲ了セシキハ總代人ヨリ直ニ其旨ヲ戸長役場ニ申出テ戸長ニ於テハ其取調書ヲ調査シ事實精覈ナリト見認ルモノニ限リ開申ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第六條　實地ノ調査ハ現在徵租ノ基本ニ供スル帳簿（地券臺帳地價帳ノ類）及ヒ改租ノ際調製セシ繪圖面ヲ根據トシ每筆實地ニ照ラシ地押調査ヲ爲サシムヘシ

但地押調査ハ地番號ヲ逐ヒ一字限對照シ相違ノ土地ハ其字番號現地目及ヒ其事由ヲ別帳ニ登記シ以テ訂正方出願又ハ届出ノ根據ト爲サシムヘシ

第七條　實地調査上落地或ハ無願開墾地及ヒ無届地目變換地其他渾テ實地ト帳簿圖面ト離齟スルモノヲ發顯スルトキハ左ノ手續ニ依リ其町村戸長ヨリ該取調上精覈ナル旨見認ヲ受クル日ヨリ十日以内ニ訂正方開申セシムヘシ

一　落地ハ其地盤ヲ丈量シ四隣ノ境界判明ナル地圖ヲ添該隣地主連署ノ上有租地編入ノ義出願セシムルモノトス

二　無願開墾地及ヒ無届地目變換ハ其地盤ヲ丈量シ客年當府甲第百八號布達第拾貳號書式ニ倣ヒ該布達第貳號形ノ如キ圖面ヲ添申出サセシムルモノトス

三　圖面及帳簿ニ對照シ渾テ實地ト離齟セルモノアルトキモ亦前項ニ準シ申出サセシムルモノトス

但目今已ニ變換等申出タルモノハ本文ノ限ニアラス

第八條　段別ハ地租改正ノ際確定シタルモノニ付今般ノ取調ニ方リ故サラニ實地ノ丈量ヲ爲スヲ要セス尤其地ニヨリ甚シキ差異アリテ其儘据置キ難シト思惟スルモノハ事情具申スヘシ

第九條　地租改正後地主ノ便宜上ヨリ畦畔ヲ歷設シ本地反別ノ增減ヲ申出サルモノアルキハ此際渾テ丈量シ其增減ヲ申立テ其反別

地價ノ訂正ヲ出願セシムヘシ

第十條　地租改正ノ際調製セシ地圖ニ異動ヲ來シ此際更正シ得ヘキモノハ之ヲ更正スヘシト雖モ是カ爲不明瞭トナリ將來錯亂ノ虞アルモノハ更ニ調製スヘシ

第十一條　脫落地々番ハ隣地ノ番號ヲ甲トシ脫落地ニハ其乙番號ヲ附スヘシ

第十二條　實地取調上第七條ノ類ヲ發顯シ各項ノ手順ヲ以テ出願スルキハ主務吏員ヲ派遣シ其反別地價ノ當否ヲ檢查セシムヘシ

第十三條　第七條ノ類ヲ發顯スルモ一時ノ手數ヲ厭ヒ之ヲ隱蔽シ他日吏員檢查ノ際發見スルニハ相當ノ處分ニ及フヘシ

第十四條　實地ノ調查ヲ了シ夫々處分濟ノ上ハ續テ土地臺帳及名寄帳編製ニ着手スヘシ

（御用印刷　府廳前　中西活版所）

乙第百六號

本年本府乙第七十八號達中左記ノ者誤調ノ旨ヲ以テ取消方福井縣ヨリ照會越候ニ付取消候條此旨相達候事

明治十八年六月十四日

京都府知事北垣國道

郡區役所

前川才助

矢尾萬右衛門

山本大次郎

松江彥太郎
山内伊三郎
山崎清左衛門
荒川五助
明知宇三郎
今村正則
宮川權左衛門
酒井五郎右衛門
廣部四郎兵衛
木森太郎松

眞田吉左衛門
山崎大吉
大澤由松

（御用印刷商報會社）

乙第百八号

郡區役所
戸長役場

明治十七年十一月本府乙第二百四十三号達歳入科目中商標登録手數料ノ次ヘ專賣免許料ノ大科目ヲ增加ス此旨相達候事

明治十八年六月廿五日　京都府知事北垣國道

乙第百九号

郡區役所

今年四月當廳乙第九十二号達中第四項國稅未納者云々之件取消ノ義山梨縣ヨリ照會越候ニ付該項取消候條此旨相達候事

明治十八年六月廿六日

京都府知事北垣國道

收

乙第百十號

郡區役所
戸長役場

送受籍取扱ノ義自今受籍証ヘハ戸籍ヘ登錄シタル年月日ヲ記載シ原籍戸長ニ於テハ受籍証到達ノ上該証ニ記載ノ年月日ヲ以テ除籍可取計此旨相達候事

明治十八年六月廿九日

京都府知事北垣國道

乙第百十一號

別紙告諭書部内無洩觸市シ方取計尚郡區長戸長ニ於テ篤ク勸奬可致此旨相達候事

明治十八年六月廿九日

郡區役所
戸長役場

京都府知事北垣國道

過日來ノ霖雨非常出水ヲ致シ爲メニ苗代ヲ害シ又既ニ植付ノ稲苗水腐ニ屬スルノ恐レアリ今ニシテ稲苗ヲ圃ニ他日植付又ハ再植ノ要ニ供セサレハ減水ノ日ニ於テ忽チ其欠乏ヲ告ケ積日耕耘ノ功一朝水泡ニ歸スルノミナラス巨多ノ損害ヲ來サン過般モ告諭及ヒ置タル通本年ハ春來氣候不順ニシテ農產物ノ生育宜シカラス農家大概ヲ困難ノ折柄若シ右樣損害ヲ釀シ候テハ如何ノ慘境ニ陷ルモ難量實以容易ナラサル次第ニ付植付未濟ノ村落ハ勿論仮令植

付濟ノ村方ト雖モ苟モ稲苗育之向ハ他日ノ手當トシテ可嚮ニ貯ヘ置キ相互ニ補助致シ候樣深ク注意ス可シ尚ホ參考ノ爲メ左ニ稲及藍作ノ加法ヲ記シ此旨告諭ス

明治十八年六月二十九日

京都府

稲苗早作法

一最モ早稲ノ粳種ヲ撰ミ淺キ桶ニ入レ（水ノ深サハ粳種ノ上凡壹寸余リヲ要ス）晝間ハ炎熱赫々タル日光ニ暴ラシ夜間ハ可成温暖ナル室中ニ入レ之ヲ二三回覺ヤ過

シ如此シテ三日ヲ經過シ萌芽ノ如何ニ抱ハヲス之ヲ竹籠ニ揚ケ木灰ニ塗フシ本田ヘ直チニ植付ヘシ（一株ノ粒數及ヒ其間隔ハ其地ノ適宜）又深田ニ植付ルハ竹筒ノ節ヲ拔キ之ヲ田面ノ水中ニ入レ其筒口ヨリ適宜ノ量ヲ播種スヘシ（斯ノセサレハ取種散亂ノ恐レアリ）

備考

本文ノ作法モ時季ノ遲速ト土地ノ寒暖トニヨリ收穫ノ差違有之ト雖モ大概七月中旬迄ニ施スヰハ必ス幾分ノ收量アリ即チ江州湖六邊ノ各所ニ實行スルノ方法ナリ

雜草繁茂ノ早キ地ニ於テハ雜草ニ覆ハレ生育シ難キモノナリ故ニ如此土地ニハ前條ノ如ク三日間浸水セシ苗ヲ木灰ニ塗フシ一旦通常苗代ヘ播種シテ后本田ヘ植付ルヲヨシトス

非常藍作法

一先ツ通常植付アル所ノ藍葉一番刈リハ期ニ至レハ少シク株高ニ刈リ取リ其殘株水中ニ在ル部分ハ既ニ白根ヲ生シ居レハ直ニ田水ヲ半減シテ其株半ヲ殘シ（假令ハ三寸アルナレハ一寸五分）半ハヲ刈リ取リ

之ヲ苗トナス而シ水害田腐苗ノ跡ヲ耕ヘシ手準シタル田地ヘ適宜ニ蒔付ケ三四日ヲ經レハ毎日一回ツヽ肥料（尿一水三）ヲ施スヘシ生立速カニテ相當ノ二番葉ヲ採収スルモノナリ

（御用印刷　府廳前　中西活版所）

勸

乙第百五十七號

郡區役所

明治十一年第三拾貳號公達郡區長職務條件第五項六項ニ依リ伐採スル立木及ヒ本年四月當府乙第六十壹號ヲ以委任シタル枯倒障碍竹ヲ處分スルハ以來左ノ手續ニ依ルヘシ此旨相達候事

京都府知事北垣國道代理

明治十八年七月三十日

京都府大書記官尾越蕃輔

官林倒枯及障碍木竹取扱手續

第壹條

一官林中ニ倒枯木及障碍木有之旨監守人又ハ村総代等ヨリ届出ルトキハ勸業課山林係ヨリ通知スルコモアルヘシ主任者立會實地ニ臨ミ其天災之爲メ轉倒セシカ又ハ天然ノ朽枯ナルカ或ハ差置キ難キ障碍木ナルヤ檢査シ相違ナキニ於テハ木種目通長寸尺員數共届書ト照合シ然ル後處分之手續ヲ爲スモノトス

第貳條

竹條檢査畢レハ可佛下樹木之株根ト樹幹ヲ削リ各之レニ鑿印ヲ施シ伐採後一ハ樹根ニ存在セシメ一ハ伐採木ニ存在スルヲ要ス

第三條

一竹種ヲ處分スルハ前條之手續ニ倣ヒ鑿印ニ換ユルニ墨點ヲ以テスヘシ

第四條

一檢査　上該木竹ヲ公賣スルハ從前ノ規則ニ依ルヘシ

第五條

一處分濟ノ上ハ去十五年乙第三十號達ニ依リ其旨當廳ニ報告スヘシ

第六條

一拂受ケ人ニ於テ樹竹ノ伐採ヲ了シタルトキハ其旨屆出ヲセ最前撿査シタル員數寸尺種類ト照合シ相違ナキニ於テハ再ヒ切口ニ株改メ之ニ鑿印ヲ附シ置クヘシ

第七條

一伐採ノ竹木ハ撿査ヲ了シタル上ニ非サレハ官林外ニ運搬スルヲ許サヽルモノトス

乙第百八拾七號

郡區役所
戸長役場

明治十四年乙第三拾七號達郡區長ヘ特任條件中左ノ通更正候條此旨相達候事

明治十八年十二月二日

京都府知事北垣國道

第五拾貳條　府社以下幷寺院境内村倒木伐採及栽培願ノ事

乙第百九拾八號

郡區役所

客年十一月乙第貳百四拾六號達來ル明治十九年一月ヨリ廢止候條此旨相達候事

明治十八年十二月十七日

京都府知事北垣國道

庶

[illegible]部第百三號

郡區役所

十七年度酒造々石稅不納ニ付成規ノ通處分ノ末官損ニ歸シタルモノ左記ノ通札幌縣ヨリ照會越候ニ付未管下ニ於テ再營業出願候節者該金徵收當廳ヘ送付スヘシ此旨相達候事

京都府知事北垣國道代理

京都府大書記官尾越蕃輔

明治十八年十一月廿四日

收

一金八拾七圓六拾八錢壹厘　後志國小樽郡住初町
但十七年度第一期第二期酒造人石税　加藤富吉

乙第貳百四號

有位帶勳者ニテ官廳ヘ參賀スヘキ向來ル明治十九年一月一日新年參賀時間左ノ通候條右向々ヘ告達方可取計此旨相達候事

但遠隔之向ハ賀表奉呈不苦旨ヲモ併セテ告達スヘシ

職

明治十八年十二月廿四日

京都府知事北垣國道代理

一午前第八時參廳仝第九時拜賀ト云

京都府大書記官尾越蕃輔

職務役所

223

庶

田第一號

疏水事件ニ付上下京區ヲ以區域トシ聯合區會開設ス此旨上下京區內一般ヘ布達候事

明治十八年一月八日

京都府知事北垣國道

第二〇三號
明治十八年一月十六日領收

224

甲第二號

明治十五年一月當廳甲第十二號學務委員薦擧規則別冊之通改正候條此旨布達候事

但現任學務委員ハ舊規則ヲ以テ定メタル改薦期限マテ其儘據置不苦候事

明治十八年一月廿日

京都府知事北垣國道代理
京都府大書記官尾越蕃輔

學務委員薦舉規則

第壹條　學務委員薦舉スルヲ得ルモノハ滿二十五歳以上ノ男子ニシテ其學區内町村ニ住居シ其學區内町村ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ限ル

但シ左ノ各款ニ觸ルヽ者ハ薦舉スルヲ得ス

第一　風癲白痴ノ者

第二　重法ニ依リ懲役一年以上ニ處セラレ滿期後未タ壹年ヲ經サル者

第三　身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

第四　官吏及陸海軍諸本現役ノモノ

第二條　學務委員ヲ薦舉スルヲ得ルモノハ滿二十歳以上ノ男子ニシテ其學區内町村ニ住居シ其學區内町村ニ於テ地租ヲ納ムル者ニ

五年ヲ經サルモノ新法ニ依リ剝奪公權若クハ停止公權ノモノ又ハ懲重禁錮壹年以上ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後未タ五年ヲ經サルモノ

限ル

但前條第一第二第三ノ各款ニ觸ルヽ者及ヒ陸海軍々人現役ノ者ハ薦擧人タルヲ得ス

第三條　學區ノ事情ニ依リ町村會議員又ハ前條ノ薦擧人タルヲ得ヘキモノニ於テ毎町村二名ヲ互撰シ薦擧委員トナスヲ得

但本條薦擧委員ヲ設置スルハ其學區内町村會ノ評決ヲ以ス

第四條　學務委員解任死去等ニテ總テ薦擧ヲ

要スルトキハ郡區長ハ薦擧ノ日ヲ豫定シ五日以前ニ其學區内戸長役場ヘ達示スヘシ戸長役場ハ直ニ其町村一般ヘ達示スヘシ

第五條　前條ノ達示アルトキハ第二條若シクハ第三條ノ薦擧人ハ第一條ニ定メタル被薦擧人ノ中ニ就キ其定員ノ三倍ヲ投票用紙ニ被薦擧人及ヒ自己ノ姓名ヲ記シ薦擧ノ日郡區役所ニ差出スヘシ

第六條　郡區長ハ投票ヲ受取リ薦擧人ノ面前ニ於テ開票シ其第一第二條ニ定メタル權限

ニ抵觸ナキヤ否ヲ査シ多數ヲ得タルモノヲ當薦人トシ尚ホ其履歴書ヲ付シ意見ヲ具ヘ府知事ニ開申スヘシ

但投票同數ノレハ年長ヲ採リ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　學務委員ノ任期ハ滿四ケ年トス

第八條　學務委員第壹條ノ權限ニ抵觸スルカ又ハ定員ニ增減ヲ生スルカ學區域變更等ノ事ニ場合カ及ヒ時宜ニ依リ前條ノ任期ニ拘ラス解任シ更ニ薦擧セシムヘシ

第九條　明治十五年第五十六號布告ニ依リ設置スヘキ學務委員ノ薦擧方法モ此規則ニ依ルヘキモノトス

（總用印刷　府廳前　小川活版所）

警

甲第[illegible]號

昨十九年十二月第三十一號ヲ以テ火藥取締規則
布告相成候就テハ該願屆等ノ手續左之通可心
得此旨布達候事

明治十八年一月廿八日

京都府知事北垣國道代理
京都府大書記官尾越蕃輔

十九年七月[illegible]
田[illegible]

第一項　規則第二條ハ免許鑑札ヲ受ケント欲スル者ハ別紙第一号雛形ニ倣ヒ願出ツ可シ

但地方税ニ係ル鑑札申受方ノ義ハ仍ホ其規則ニ從フ可シ

第二項　鑑札ヲ遺失毀損又ハ水火盜難ニ罹リタルキ又ハ改姓名若クハ轉居ハ別紙第二號雛形ニ倣ヒ速ニ鑑札書換ヘ又ハ下渡ヲ願出ツ可シ

第三項　廢業セント欲スル者ハ別紙第三號雛形ニ倣ヒ届書ヲ作リ鑑札返納ス可シ

第四項　規則第六條ニ據リ官許ヲ得ント欲スル者ハ所轄警察署ヘ願出ツ可シ

第五項　規則第七條及第十二條ノ届書ハ別紙第四號雛形ニ倣ヒ差出ス可シ

第六項　規則第十條ノ銃炮用又ハ坑業土工其他職業用ニ[illegible]セント欲スル者ハ別紙第五號雛形ニ倣ヒ願出ツ可シ

第七項　規則第十三條ノ場合倉庫ニ貯藏セント欲スルモノハ其場所ノ概畧及人家道路ヘ距離ヲ詳記シタル圖面幷ニ隣佑ノ承諾書

ヲ添ヘ願出ツ可シ

全則第廿一條煙火製造所ヲ建設セント欲スルモノ亦全シ

第八項　規則第十五條第廿條ノ願書ハ別紙第六號雛形ニ倣ヒ差出ス可シ

第九項　前第廿二條ニ據リ許可ヲ得ント欲スルモノハ別紙第七號雛形ニ倣ヒ願出ツ可シ

第十項　前第一項第二項第三項第七項第八項ノ書面ハ所轄警察署ヲ經由ス可シ

第十一項　前第四項第五項第六項第九項ノ書面ハ分署所轄内ニ在テハ其分署ヘ差出ス可シ

第一號

火藥貿營業願

私儀

今般火藥貿營業仕度ニ豫テ火藥類取扱方熟知致シ居候ニ付御許可ノ上ハ取扱方等決シテ世怨ニ致ス間敷候間此段奉願候也

何郡區何組何町村何番戸居住

（寄留）身分職業

何ノ誰印

年月日

京都府知事宛

第二號

免許鑑札御書換御下渡願

私儀

豫テ御下渡相成居候免許鑑札何日何日遺失（毀）

損水火盜ニ罹リ、[illegible]名何郡區何組）何町村何番

轉居致候ニ付御書換（御下渡）被成下度（鑑札相

添）此段奉願候也

何郡區（何組）何町村何番戸居住

（寄留）身分職業

年月日

何ノ誰印

京都府知事宛

第三號

廢業御[illegible]

私儀

今般都合ニ仍テ廢業[illegible]シ[illegible]ニ付鑑札相添ヘ此

段御届申上候也

何郡區（何組）何町村何番戸居住

（寄留）身分職業

月　日　何ノ誰印

京都府知事宛

第四號

火藥類買受之義ニ付御届

何日

一棉火藥（内外國製造）　何百目

一雷管（仝）　何百個戸

日

一ニ[illegible]イト（仝）　何百目

[illegible]月中買受申候ニ付（證書何通相添）此

[illegible]也

何[illegible]（[illegible]組）何樹何番戸居住

（寄留）身分職業

年　月　日　何ノ誰印

何警察[illegible]何分署

[illegible]中

第四號ノ二

火藥類賣渡ノ義ニ付御届

何日

五

一稀火藥（内外製造）　何百目

一口管（仝）　何百個

右ハ何府縣何郡區何町村何番戸何ノ人烟火製造人又ハ銃炮用若クハ坑業土工用ナリノ誰ニ賣渡ス

何日

一タイナマイト（仝）　何百目

右ハ前ニ仝ク

前記之通有月中賣拂中候ニ付（諸書何通相添ヘ）

段御届仕候也

何郡區（何組）何町村何番戸居住

（寄留）身分職業

年　月　日　何ノ誰印

何警察署又ハ何ノ縣

御中

第五號

火藥買受ス

一小銃用火藥　何程

一雷管　何個

右ハ何銃炮（坑業土工ニ他何職業）用ニ供スル爲メ買受（何處ニ於テ使用）申度依テ此段奉願候也

何郡區（何組）何町村何番戸居住

（寄留）身分職業
何ノ誰印

年　月　日

何警察署（又ハ）何分署
御中

火薬庫（貯蔵所）建設願

今般火薬類ヲ貯蔵（又ハ販売）ノ為メ別紙図面ノ火薬庫（貯蔵所）ヲ建設致度候ニ付テハ方法書及ヒ近傍ノ地図ヲ添ヘ此段奉願候也

（寄留）身分職業
何ノ誰印

年　月　日

京都府知事宛

第十五號

火薬運搬願

一火薬

右ハ本月何日何時何處ヲ發シ何ノ水陸ヲ經テ何處ニ運搬仕度（宿泊ヲ要スルモノハ其日時幷ニ場所ヲ明記スベシ）此段奉願候也

何貫目

（何組）何町村何番戸居住
（寄留）身分職業
何ノ誰印

何郡區(何組)何町村何番戸居住
(寄留)身分職業
年　月　日　何ノ誰印
何警察署又ハ何分署
御中

(御用印刷商報會社)

甲第五號

昨十七年五月廿三日甲第二十九號布達文中「烟火」ノ二字ヲ刪除シ「マツチ」ノ三字、挿入シ幷ニ圖面ヲ添ヘノ下ニ「所轄警察署又ハ分署ヲ經由シ」ノ十三字ヲ挿入候條此旨布達候事

明治十八年一月廿八日

京都府知事北垣國道代理
京都府大書記官尾越蕃輔

甲第六號

明治十四年三月甲第二十五號布達中廓疹患者報告心得第一條詮議ノ次第有之當分明治十三年十二月當廳第四百八拾貳號布達傳染病報告心得ニ準ン報告スヘシ此旨布達候事

京都府知事北垣國道代理

明治十八年二月二日

京都府大書記官尾越蕃輔

衛

二一九

甲第七号

衛生費ニ属スル天田郡全郡町村共有物保存方法及其會議費ノ義ニ付該各郡町村ヲ區域トシ聯合町村會開設ス此旨天田郡一般ヘ布達候事

但本會規則ハ客年當廳甲第五十七号布達ニ依ルヘシ

明治十八年二月三日

京都府知事北垣國道代理

京都府大書記官尾越蕃輔

勅

甲第八號

客年三月當廳甲第十六號及同年十月甲第百三十四號布達茶業組合準則第十二條ニ左ノ但書追加之義其筋ヨリ達有之候條此旨布達候事

京都府知事北垣國道代理

京都府大書記官尾越蕃輔

明治十八年二月三日

但時宜ニヨリ役員外ノ者ト雖モ之ヲ選擧スルヲ得

239

衛

甲第十號

傳染病豫防消毒法ノ儀ハ明治十三年內務省乙第三十六號達（當廳第三百八十二號達）豫防心得書ニ據リ從前ノ豫防消毒法ハ總テ消滅ニ屬シ候條右豫防心得書ニ據リ調製シタル消毒藥ニ限リ販賣致度者ハ同年第二十三號布告（當廳第二百四十號布達）ニ據リ可願出此旨布達候事

明治十八年二月七日

京都府知事北垣國道

甲第十二號

土木費ノ內道路幷ニ橋梁修築費（線路變換或ハ峻坂平低等ノ工事ニシテ其關係町村ノ負擔地ヘサル分ヲ補助スルニ限ル）災害豫防及警備費ノ內備荒儲蓄費勸業費ノ內勸業委員費教育費ノ內小學生徒賞與費教育補助費衛生費ノ內傳染病豫防費及ヒ右ニ關スル會議費ノ爲メ與謝全郡町村ヲ區域トシ鍛冶町獵師町ヲ除キ外三拾六ケ町九十ケ村聯合町村會開設ス此旨該區域內一庶殷ヘ布達候事

但該會規則ハ客年當廳甲第五十七號布達ニ

甲第十三號

明治十三年十月當府第三百八拾號達相廢シ更ニ町村衛生委員設置幷ニ撰擧規則左ノ通相定候條此旨布達候事

明治十八年二月九日

京都府知事北垣國道

町村衛生委員設置幷撰擧規則

第一條　町村ニ衛生委員ヲ置キ部内衛生ニ係ル諸般ノ事ヲ取扱ハシム其事務所ハ戸長役場内ニ設置スルモノトス

依ルヘシ

明治十八年二月七日

京都府知事北垣國道

第二條　町村衛生委員ハ戸長役場所轄區域ニ依リ之ヲ設置ス其人員ノ多寡ハ町村會ノ評決ニ任ス

但傳染病流行ニ際シ其時限リ別ニ增員スルヲ得

第三條　町村衛生委員ハ其町村ナシテ定員ノ三倍ヲ撰擧セシメ其中ニ就キ府知事之ヲ撰任ス

但給料手當旅費等ノ額ハ町村會ノ評決ニ任ス

第四條　町村衛生委員ノ任期ハ滿二年トス

但委員タルノ權限ニ抵觸スルカ又ハ傳染病流行ニ際シ增員シタルモノ其他時宜ニ依リ任期ニ拘ハラス之ヲ解任ス

第五條　衛生委員ニ撰擧スルヲ得ルモノハ滿二十五年以上ノ男子ニシテ其部内町村ニ住居シ其町村内ニ於テ地租ヲ納ムルモノニ限ル

但左ノ各款ニ觸ルヽモノハ撰擧スルヿヲ得ス

第一　瘋癲白痴ノ者

第二　舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者

新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後五年ヲ經サル者

第三　身代限リノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

第四　官吏及陸海軍諸卒現役ノモノ

第六條　衞生委員ヲ撰擧スルヲ得ルモノハ滿二十年以上ノ男子ニシテ其部内町村ニ住居シ其町村内ニ於テ地租ヲ納ムルモノニ限ル

但前條第一第二第三ノ各款ニ觸ルモノ及ヒ陸海軍諸卒現役ノモノハ撰擧人タルヲ得ス

第七條　町村ノ事情ニ依リ町村會ノ評決ヲ以テ前條撰擧人タルヲ得ヘキモノニ於テ每町村二名ヲ互撰シ撰擧委員トナシ又ハ町村會議員ヲシテ撰擧セシムルヲ得

第八條　衞生委員ノ解任辭職又ハ死亡其他總

テ欠員ノ場合ハ戸長ニ於テ直ニ撰舉ノ日ヲ豫定シ五日已前ニ其部内町村一般ヘ告示スヘシ

第九條　前條ノ告示アルトキハ第六條又ハ第七條ノ撰舉人ハ第五條ニ定メタル被撰舉人ノ中ニ、就キ三倍ヲ撰ミ投票用紙ニ被撰舉人及ヒ自己ノ姓名ヲ記シ撰舉ノ日戸長役場ヘ差出スヘシ

第十條　戸長ハ投票ヲ受取リ撰舉人ノ面前ニ於テ開票シ第五第六條ニ定メタル權限ニ抵觸ナキヤ否ヲ查シ多數ヲ得タルモノヲ當撰人トシ其履歷書ヲ付シ郡區長ヘ差出スヘシ

但投票全數ナレハ年長ヲ採リ全年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

（御用印刷商報會社）

庶

甲第十四號

加佐郡吉坂村ヨリ若狹國ニ達スル字吉坂峠開鑿事件及其土木費幷ニ會議費ノ爲メ加佐郡全町村ヲ區域トシ百七拾壹町村（市原谷村ヲ除ク）聯合町村會開設ス此旨該區域内一般ヘ布達候事

但本會規則ハ當廳客年甲第五拾七號布達ノ通心得ヘシ

明治十八年二月十八日

京都府知事北垣國道

甲第十五號

丹後國與謝郡有田村田中村ヲ合併シ瀧馬村ト改稱候條此旨布達候事

明治十八年二月十八日

京都府知事北垣國道

二二二
八三七

兵

甲第十六號

在鄕諸兵身上異動之節屆出方之儀成規有之者ハ勿論ニ候得共自今異動アル毎ニ各自人別表面ニ訂正ヲ加フヘキ要用ノ件ハ無洩記載シ必ス屆書ニ相添ヘ可差出其筋ヨリ通達有之候條此旨布達候事

明治十八年二月廿日

京都府知事北垣國道

第二二一號
明治十八年二月廿日領收

248

甲第十八號

明治十一年當廳第貳百五十號布達詮議ノ次第
有之取消候條以來寺院ニ於テ執事（執事ノ名稱ヲ用ヒサル向ハ之ニ該當スル役僧）進退候節ハ其都度可届出此旨布達候事

明治十八年二月廿三日

京都府知事北垣國道

第十九號

與謝郡第九番學區ニ係ル事件及其經費幷ニ會議費ノ爲メ同郡江尻村難波野村大垣村中野村小松村溝尻村國分村成相寺村字東谷ヲ除ノヲ區域ト シ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但該會規則ハ本府客年甲第五拾七號布達ニヨリ其議員ハ十人ト シ其區域内ニ於テ撰定スヘシ

明治十八年三月二日

京都府知事北垣國道

庶

甲第二十號

與謝郡第九番學區ノ內府中校ニ係ル事件及其經費幷會議費ノ爲メ仝郡大垣村難波野村中野村小松村溝尻村國分村成相寺村字東谷ヲ除クヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ當府客年甲第五拾七號布達ニヨリ其議員ハ十人トシ其區域內ニ於テ撰定スヘシ

明治十八年三月二日

京都府知事北垣國道

甲第二十一號

客年當廳甲第九十六號布達國民軍異動届手續第壹條ヘ左之但書ヲ加ヘ第二條中調査ノ二字ヲ改メ奥書証印トナシ第三條中訂正シノ下ニ認印ノ二字加ヘ候條此旨布達候事

明治十八年三月二日

京都府知事北垣國道

但シ上下京ニ係ル住所ヲ記スルニハ區ノ次ニ組名ヲ加フヘシ

甲第二十二號

社寺境内立木竹ノ義ハ妄リニ伐採スヘキモノニ無之候得共伐採願出候節ハ詳細其事情ヲ具シ自今別紙之通取調可差出此旨布達候事

明治十八年三月二日

京都府知事北垣國道

社寺境内木竹伐採心得

一社寺境内官民有地木竹ヲ分テ左ノ四類トス

第壹類　木竹　目通寸尺ニ不拘渾テ境内風致ニ關スルモノ及目通壹丈廻以上ノ樹木

第貳類　木　目通壹丈廻以下五尺廻以上

第三類　木　目通五尺廻以下壹尺廻以上

第四類　木　目通壹尺廻未滿　竹　目通三寸廻未滿

一第壹類ハ渾テ伐採ヲ許サス第四類ハ生立ノ儘

爲扱伐ノ外伐採ヲ許サヽルモノトス

但第壹類風致ニ關スル竹林及第四類ノ樹木ニシテ其木竹育生ノ爲透伐ヲ要スルヤ

ハ其理由ヲ明記シ左ノ雛形ニ據リ内書ニ其抜伐ヲ要スル員數ヲ掲クヘシ

一第二類第三類以下ノ立木竹伐採ヲ要スルキハ現境内總圖建物及伐採ヲ要スル赤竹ノ位置等精細ナル圖面ヲ添ヘ願出ヘシ

但伐木願ノキハ立竹ヲ取調ニ不及伐竹願ノ節ハ立木ハ掲クルヲ不要

一社堂造修ノ爲伐採ヲ願出ルキハ其目論見仕様書ヲ付スヘシ

但社堂造修トハ社ハ本殿拜殿等寺ハ本堂庫裡等ニ限ルヘシ

（境内竹木取調書雛形）

境内竹木取調書

何國何郡區何町村字何々

社ハ社格寺堂ハ宗派本寺受持寺等ヲ肩書ニスヘシ　某　神社佛寺

一境内　何々坪　官民有地第何種　他ニ持主アラハ其姓名ヲ記スヘシ

第壹類

松　幾本

眞竹　幾本

第貳類

杉　幾本

孟宗竹　幾本

松 目通何尺廻 何 同上 幾本
内何幾本此般伐採願ノ分
第三類 以下第四類倣之
同上
同上
右之通相違無之候也
年 月 日
何社寺祠官掌或住職又ハ受持
何 某

（御用印刷商報會社）

甲第二十三號

竹野郡小學督業設置ニ係ル事件及其經費并ニ
會議費ノ爲メ竹野全郡六拾七村ヲ區域トシ聯
合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事
但本會規則ハ客年當廳甲第五十七號布達ニ
依ルヘシ

明治十八年三月三日

京都府知事北垣國道

甲第二十四號

天田郡第八學區内昭明小學校ニ係ル事件及經費其會議費ノ爲メ猪野々村梅谷村宮垣村田和村上小田村ノ内字鉈ケ谷同長租口住所同大見同野筈同大山下小田村ノ内字和田ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域一般へ布達候事

但本會規則ハ明治十七年甲第五十七號達ニ依リ議員々數ハ十人トシ其區域内ニ於テ撰出スヘシ

明治十八年三月三日

京都府知事北垣國道

甲第二十五號

與謝郡第十學區ニ係ル事件及經費其會議費ノ爲同郡日置村上世屋村木子村駒倉村須川村野中村下世屋村松尾村東野村、畑村成相寺村ノ内字東谷ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ明治十七年甲第五十七號達ニ依リ議員々數ハ十一人トシ其區域内ニ於テ撰出スヘシ

明治十八年三月三日

京都府知事北垣國道

甲第二十六號

天田郡第八學區内廣運小學校ニ係ル事件及經費其會議費之爲野花村立原村十二村夷村上大内村下大内村上小田村ノ内字六十内下小田村ノ内字柿本ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ明治十七年甲第五十七號達ニ依リ議員々數ハ十人トシ其區域内ニ於テ撰出スヘシ

明治十八年三月四日

京都府知事北垣國道

甲第二十七號

天田郡福知山内記町外十八ヶ町災害豫防及警備費ニ係ル事件及其會議費之爲右十九ヶ町ヲ以テ區域ト㆑シ聯合町會開設ス此旨該區域町一般ヘ布達候事

但本會規則ハ明治十七年甲第五十七號布達ニ依ルヘシ

明治十八年三月四日

京都府知事北垣國道

兵

甲第二十八號

本年ヨリ徴兵番號割符之製改正相成入營之上ハ本隊ニ引揚ケ滿期除隊ノ節再ヒ附與不相成ニ付現在々鄉兵ニテ舊製割符所持之者幷ニ今後歸鄉セシムルモノ及ヒ十八年度後徴集之者番号割符取扱方別紙之通可相心得旨其筋ヨリ通達有之候條此旨布達候事

明治十八年三月五日

京都府知事北垣國道

一歸休兵現役滿期豫備役編入幷ニ身上異動之節ハ割符ノ裏書ヲ要セサルヲ以テ各自所持之軍隊手帳ノミヲ届書ニ添ヱ郡區駐在官ヘ差出シ訂正ヲ請求スヘシ

一現役及ヒ豫備後備役輜重輸卒幷ニ各種補充員若クハ第一豫備徵員服役中之者各役滿期及ヒ身上異動之節ハ軍隊手帳所持セサルヲ以テ各自所持ノ番號割符ヲ前項仝樣差出シ訂正ヲ請求スヘシ

一在鄉諸兵中番號割符ヲ損傷遺失シ若クハ盜難ニ罹リ候節軍隊手帳ヲ所持スルニノハ割符ノ書換ヲ要セサルヲ以テ其理由ヲ記シタル届書ニ手帳ヲ添ヘ郡區駐在官ヘ差出シ軍隊手帳ヲ所持セサルモノハ其理由ヲ具狀シ郡區駐在官ヲ經テ書換ヲ請求スヘシ

御用印刷商報會社

甲第二十九號

一疏水事件ニ限リ上下京聯合區會ニ事務員六名ヲ置キ區會議員ヨリ三名ツヽ交番三ケ月持リヲ以テ從務スルモノトス

但抽籤ヲ以テ從務ノ順序ヲ定ム

一常務員ハ聯合區會評決ニ係ル事件施行上ニ對シ其代表ヲナスノ任ヲ有スルモノトス

一常務員ハ半數ハ工事現場ニ出務シ每日工事ノ進功及ヒ其實況ヲ査閲シ記錄ヲ作リ之レカ正確ヲ証スルノ事ニ從務シ半數ハ疏水事

務所ニ詰メ會計上及ヒ其他内外ノ事ニ對シ
議會代表ニ係ル事件ニ從務ス
但臨時部合ニ依リ前段或ハ後段ノ事ニ總
員從務スルコヲ得
一常務員ハ月手當貳拾五圓巡回旅費一日七十
錢滯在日當三拾五錢トシ幷ニ事務所ノ費用
ハ聯合區費ヨリ支給ス
右上下京區一般ヘ布達候事

明治十八年三月六日

京都府知事北垣國道

甲第三十號

今般府下十七年度不定期獵場別紙之通相定候
條此旨布達候事

明治十八年三月十二日

京都府知事北垣國道

別紙）

愛宕郡

八瀬村　小出石村　大原村
東紫竹大門村ノ内
元氷室村　百井村　大見村
尾越村　久多村　原地新田
八桝村　別所村　鞍馬村
貴船村　雲ヶ畑村　大布施村
静原村　市原村　野中村
二ノ瀬村

葛野郡

松室村　水尾村　原村
越畑村　梅畑村　小野村
大森村

乙訓郡

外畑村　出灰村　浄土谷村
石作村ノ内
元坂本村　仝灰谷村　小塩村

相樂郡

園村　原山村　門前村
湯舟村　童仙房村　神童子村
梅谷村

南桑田郡

出灰村　中ノ畑村　田能村
杉生村　神原村　小泉村
東掛村　二料村　南掛村
栢原村　鎌倉村　倉谷村
湯谷村　寺田村　大野村
大槻並村　万願寺村　柚原村
笑路村　神地村　犬甘野村
神前村　千ヶ畑村　廣野村
土ヶ畑村　牧村

北桑田郡

神吉村　細野村　周山村
五本松村　下熊田村　大野村
比賀江村　塔村　鳥居村
下村　辻村　中江村
下黒田村　宮村　上黒田村
片波村　灰屋村　井崎村
塩田村　下弓削村　下中村
上中村　上弓削村　田貫村
室谷村　赤石村　原村

板橋村　宮脇村　内ノ保村
島村　静原村　長谷村
和泉村　樫原村　中地村
柏原村　弓削村　朽本村
明石村　下宇津村

天田郡

池部村　石原村　安井村
畑ヶ中村　中村　筈巻村
北山村　天座村　樽水村
下野條村　談村　小牧村

上野條村　井田村　行積村
額田村　長尾村　畑村
直見村　大油子村　板生村
日置村　十二村　千原村
上小田村　末村　上大内村
今西中村　大呂村　高内村
小倉村　猪野々村　梅谷村
田和村　宮垣村　一尾村
牧村　瘤木村　一ノ宮村
上佐々木村　下佐々木村　中佐々木村

常願寺村　喜多村
石場村　拝師村　日尾村
岩間村　多保市村　椹原村　芦淵村
萩原村　正後寺村　坂室村
上野村　堀越村　細見辻村
細見奥村　寺尾村　草山村

何鹿郡

内久井村　遅岫村　西方村
高津村　安場村　於與岐村
建田村　十根村　故屋岡村

老富村　睦寄村

加佐郡

南山村　小原田村　北原村
佛性寺村　橋谷村　瀧ヶ宇呂村
西方寺村　下見谷村　上膝原村
八戸地村　九田村　吉田村
青井村　岸谷村　白瀧村
與保呂村　多門院村　鹿原村
西屋村　河邊由里村　室牛村
河邊原村　栃尾村　大山村

觀音寺村　小橋村　三濱村
多稱寺村
與謝郡
雲原村　與謝村　瀧村
熊野郡
二俣村　尉ケ畑村
中郡
五十河村　鱒留村

（御用印刷商報會社）

甲第三十一號

現役幷豫備后備役及補充員第一豫備徵員等ノ者身上異動有之節其筋ヘ可屆出ハ勿論ニ候處名簿上ニ關スル（戸主名前換又ハ本人轉籍分家或ハ他家養子入夫離縁死沒等ノ類）分ハ其都度當府ヘモ屆出ヘシ此旨布達候事

但明治十四年當府甲第百十二號布達ハ廢止ス

明治十八年三月十一日

京都府知事北垣國道

正誤七

本年當廳甲第十七號布達中明治十五年トアル
ハ明治十四年ノ誤
明治十七年八月當廳甲第八十二號布達中小學校
教則中女兒學科用圖書表小學中等科第四級歷
史ノ下（小學國史略卷ノ二）ノ下ニ（ヨリ）ノ二字ヲ
脫シ（卷ノ二）ノ下（上半冊）ヲ削リ（三十二枚マテ）ノ
六字ヲ挿入ス
仝第三級仝上（小學國史略卷ノ二）ノ下（上半冊）ヲ
削リ（三十三枚ヨリ）ノ六字ヲ挿入仝（卷三）ノ下（未

尾マテ）ノ四字ヲ脫ス
仝男女兒合併學科用圖書表初等科第五級讀書
讀方ノ下（單語一至八三枚）トアルハ（三至八三枚
ノ誤
仝中等科第四級讀方ノ下（新撰讀本卷ノ三）ノ下
（上）ノ字ヲ脫ス
仝高等科第四級地理ノ下（小學方國地誌）ノ下（上
下）ノ二字ヲ脫ス
仝化學ノ下（小學化學書卷ノ一）ノ下卷ノ二上半
冊）ノ六字ヲ脫ス

仝第三級化學ノ下(小學化學書卷ノ二)ノ下(下半冊卷ノ三)ノ六字ヲ脫ス

仝第二級化學ノ下(小學化學書卷ノ三)ノ八字ハ衍

明治十八年三月十二日　京都府調査掛

甲第三十二號

客年十月當府甲第百七號達ニ係ル熊野全郡聯合村會ニ於テ更ニ土木費ノ內道路修築事件但熊野郡中地方費補助ニ係ル道路ノ負擔及里道修築ニ係ル補助及其經費幷ニ會議費ヲ議定セシメ候條此旨區域村一般ヘ布達候事

明治十八年三月十四日　京都府知事北垣國道

甲第三十三號

天田郡第二學區内生野小學校ニ係ル經費及某會議費議定ノ爲メ同郡生野村堀越村正後寺村坂室村三俣村池田村岩崎村上野村萩原村及芦渕村ノ内字岡部ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ當府客年甲第五十七號布達ニ依リ議員ハ十人トシ其區域内ヨリ撰擧スヘシ

明治十八年三月十六日

京都府知事北垣國道

甲第卅四號

天田郡第二學區ノ内寺尾小學校ニ係ル經費及某會議費議定ノ爲メ同郡寺尾村千束村草山村及芦淵村ノ内字琴ケ瀬ヲ區域トシ聯合村會開設スル此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ當府客年甲第五十七號布達ニ依リ議員ハ十人トシ其區域内ヨリ撰擧スヘシ

明治十八年三月十六日

京都府知事北垣國道

庶

兵

甲第三十五號

本年當廳甲第二十八號布達徴兵番號割符取扱手續第二項ヘ左之但書追加候旨其筋ヨリ通達有之候條此旨布達候事

明治十八年三月十八日　京都府知事北垣國道

但輸重輸卒ニテ一度入營シタルモノハ手帖ヲ所持スルヲ以テ本文ノ場合ニ於テハ第一項ニ準スヘシ

甲第三十六号

綴喜郡田邊河原兩村惡水杭伏越樋修繕ニ係ル經費幷ニ其會議費ノ爲メ該兩村ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域一般ヘ布達候事

但該會規則ハ客年當廳甲第五十七号布達ニ據ルヘシ

明治十八年三月十九日　京都府知事北垣國道

甲三十八号ノ一
甲第三十七号ノ二

道路位置指定申請ニ関スル件

道路位置指定ヲ申請スル左記土地ハ建築基準法第四十二条第一項第五号ノ規定ニ依リ道路ニ指定スルコトニ異議ナキ旨承諾ス

記

一、所在地　東京都目黒区中目黒五丁目二十三番地ノ一

一、地目　宅地

一、地積　二百九十九平方メートル

一、承諾ノ範囲　別紙図面ノ通リ

一、承諾ノ条件　本件土地ニ対スル所有権ヲ喪失シ又ハ建物ヲ建築スル場合ニハ本承諾ノ効力ヲ承継セシムルコト

昭和三十六年

庶

甲第三十九号

與謝郡第拾學區内日置校并ニ畑分校ニ係ル經費及其會議費評定ノ爲メ同郡日置村畑村及成相寺村内字東谷ヲ區域トシ聯合村會開設ス此旨該區域村一般ヘ布達候事

但本會規則ハ客年當府甲第五拾七号布達ニヨリ議員々數ハ各人トシ其區域内ヨリ撰舉スヘシ

明治十八年三月廿四日　京都府知事北垣國道

甲第四十号

久世郡小學督業設置事件及其經費小學生徒大中試驗費幷衞生費及其會議費評定ノ爲メ久世郡各町村ヲ區域トシ聯合町村會開設ス此旨該區域一般ヘ布達候事

但本會規則ハ客年當廳甲第五十七号布達ニヨルヘシ

明治十八年三月廿六日　京都府知事北垣國道

（別冊）

甲第四十一號

淀川筋通漑船取締規則別冊之通相定候條此旨布達候事

但本文規則ニ抵觸スル從來ノ布達々等ハ取消トス

明治十八年三月廿七日

京都府知事北垣國道

淀川航通漁船ヲ締規則

第一條　漁船ヲ以淀川ヲ航通セントスルモノハ總テ此規則ニ從フヘシ

第二條　本府下ニ定繫場ヲ定メ淀川筋ニ於テ漁船ヲ航通セントスルモノハ第一号書式ニ據リ其定繫場所轄戸長役場ヲ經當廳ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ

第三條　解船賣却其他ノ場合ニ於テ運航ヲ廢止スルトキハ第二号書式ニ據リ前條ノ手續ヲ經ノ當廳エ届出ツヘシ

第四條　淀川筋航通漁船ハ府廳ノ檢査ヲ受クヘシ其檢査官ニ於テ完全ト認定シタルトキハ第三号書式ニ據リ運航ニ堪ユヘキ期限ヲ記載シタル檢査証書ヲ下附スヘシ但シ檢査証書ハ機關室近傍公衆ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ

運航期限ヲ過キ尚ホ航行セントスルトキハ更ニ願出テ檢査ヲ請クヘシ

第五條　本府警察官吏若シ檢査官ハ定時檢査ノ外臨時乘船シ航行運轉ノ模様其他船内

ノ景況ヲ檢査スル[illegible]シ但此場合ニ於テハ檢査官ニ限リ其証[illegible]ヲ帶セシム

第六條　定時臨時ノ檢査ヲ問ハス不整備ノ部分アリト認ムル中ハ仮令運航期限内ト雖モ直ニ改造若クハ修繕ヲ命シ尚ホ運航ヲ停止スルヿアルヘシ其停止ヲ受ケタル中ハ妄ニ運轉爲スヲ得ス

第七條　府下ニ於テ淀川航通漏船ノ新造又ハ修理（船体塗替其他些少ノ修繕ハ除之）セントスル者ハ第四号書式ニ倣ヒ詳細ナル構造仕様書ヲ以テ届出テ認

第四條　淀川筋航通漏船ハ府廳ノ檢査ヲ受ク[illegible]ノ完全ト認定シタル中ハ第三号書式ニ據リ運航ニ堪ユヘキ期限ヲ記載シタル檢査証書ヲ下附スヘシ但シ檢査証書ハ機關室近傍公衆ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ

運航期限ヲ過キ尚ホ航行セントスル中ハ更ニ願出テ檢査ヲ請クヘシ

第五條　本府警察官吏若[illegible]檢査官ハ定時檢査ノ外臨時乘船シ航行運轉ノ模様其他船内

ノ景況ヲ撿査スル[illegible]ア[illegible]シ但此場合ニ於テハ撿査官ニ限リ其証[illegible]ヲ帶ヤシム

第六條　定時臨時ノ撿査ヲ問ハス不整備ノ部分アリト認ムル時ハ仮令運航期限内ト雖モ直ニ改造若クハ修繕ヲ命シ尚ホ運航ヲ停止スルヿアルヘシ其停止ヲ受ケタル中ハ妄ニ運轉爲スヲ得ス

第七條　府下ニ於テ淀川航通滊船ノ新造又ハ修理（船体塗替其他些少ノ修繕ハ除之）セントスル者ハ第四号書式ニ倣ヒ詳細ナル構造仕様書ヲ以テ届出テ認可ヲ受ケ着手スヘシ

第八條　新造修理ノ認可ヲ受ケタル時ハ左ニ記載シタル場合ニ於テ届出撿査ヲ受クヘシ

一　船体ヲ組成シタル時

二　水卸シセントスル時

三　滊罐及ヒ機械ヲ据付シトスル時

四　船体機械其他ノ要具ヲ全備シ運轉ヲ試ムル時

第九條　安全瓣ハ撿査ノ上平常用ユル氣力ニ對スル錘量ヲ定メ之ヲ[illegible]シ鑰ハ撿査官封

印シテ船内ニ保管セシヘ若シ臨時安全辦ニ
掲所ヲ生シタルカ又ハ掃除ヲ加ヘントスル
片ハ直チニ鎖鑰ヲ開閉スルヿヲ許スト雖モ
其事由ヲ届出鎖鑰ノ封印ヲ受クヘシ

第十條　船体機關ハ其質最モ堅牢ナルモノヲ
以テ構造シ運航上必用ノ属具ハ其製造ノ法
ニ適シタルモノヲ用ヒ總テ府廳ノ指揮ニヨ
リ整備スヘシ

第十一條　瀛罐ハ豫テ水試驗ヲ行ヒ平常用ユ
ル瀛力ニ對シ新罐ハ其二倍古罐ハ其二分ノ

一ヲ加ヘタル以上ノ水壓ニ堪ルモノヲ備フ
ヘシ

第十二條　安全辦ハ毎罐火床面積ノ一平方尺
毎ニ必ス二分ノ一平方寸以上ノモノ二個以
上ヲ備ヘ内一個ハ外套ノ覆ヒ鎖鑰ヲ設備ス
ヘシ

第十三條　淀川筋航通瀛船ハ乘客一坪ニ六人
十二歳未滿ハ二人ヲ一人ニ算ス
三歳未滿ハ員外トス
ノ割合ヲ以テ定員
トシ第五號雛形ノ乘客御臥牌ヲ製シ伏見警
察署ノ撿印ヲ受ケ客室掲示スヘシ但乘客

ノ定員ニ滿タサル場合ハ客室ト雖モ貨物ヲ積載スルコトヲ得

第十四條　淀川筋航行汽船乘客載貨ノ運賃ハ全業協議ノ上相當ノ額ヲ一定シ運賃表ヲ製シ届出認可ヲ受ケ而シテ后乘客待合所及船内見易キ場所ヘ掲示スヘシ

第十五條　總テ運航中ハ舵手ノ外船首ニ水先ヲ置キ且明治十三年第三十五号布告ニ據リ舷燈ヲ掲クヘシ

第十六條　濃笛ハ左ノ場合ヲ除ノ外猥リニ發スルコトヲ許サス

一　發着ノ際ハ十秒時以内ノ濃笛一聲或ハ二聲ヲ發スヘシ

一　航行中暗黑霧中降雪等ニテ鹹路ノ分明ナラサルカ又ハ渡場橋下河角等ニテ他船ノ注意ヲ要スル場合ハ五秒時以内ノ短聲ヲ時々發スヘシ

第十七條　淀川筋航通濃船ニシテ一日二艘以上出發スルトキハ一時三十分間以上ヲ隔ルニアラサレハ解纜スヘカラス尤モ其間隔時限

ハ各船主申合セ豫メ届出認可ヲ受クヘシ船數ノ増減等ニ依リ時間ヲ變換スル際モ亦本條ニ仝シ

第十八條　航行中他船ト衝突シ或ハ橋梁及ヒ水制杭等ニ觸レ彼我ニ損害ヲ生シタルトキハ遭難地最寄ノ其筋ヘ届出ッヘキハ勿論該地ノ管内外ヲ論セス歸着後速ニ届出ヘシ

第十九條　航行中ハ左ノ諸項ヲ遵守スヘシ

一　川筋ニ於テ双方行逢フトキハ上リ船ヨリ避ケ下リ船ニ航路ヲ譲ルヘシ

二　甲船ノ速力將ニ乙船ヲ乗越サントスルトキハ甲船ヨリ航路ヲ變ヘ乙船ニ其旨ヲ通シ避クヘシト雖モ川筋濫溢ニシテ避ケ難キ場合ハ最モ航路ノ廣キ場所ニ至ルヲ竢ッヘシ

三　航路ハ可成川ノ中央ヲ取ルヘシ

四　川筋大水ノ際ハ淀小橋下ノ量水標六尺五寸ニ至レハ航行スヘカラス

五　航行途中ハ猥リニ速力ヲ加シ他船ト競爭スル等ノ所爲アルヘカラス